

KUMAGAYA SOUTH
Rotary Club of
Saitama RI
Dist. 2570



2008.11.26



President : Hiroshi Kato
Secretary : Naoki Takada
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi

No. 19

Dong Kurn Lee
RI President, 2008-09
Kazuo Mashita Governor
RI Dist 2570

第529回 米山奨学生卓話 マウング チョウ ラインさん



本日のゲスト マウング チョウ ラインさん(米山奨学生)と地区役員 井上博司さん(行田さくら RC)



会長挨拶

会長 加藤 博

皆様 こんにちは
本日はお忙しい所ご出席ありがとうございます。
ビジターの熊谷ロータリークラブパスト会長富岡清様ご来訪ありがとうございます。
又 本日の例会は「米山奨学生」の卓話です。地区役員行田さくらロータリークラブの井上博司様、卓話者のマンマー出身のマウング チョウ ライン様、当南クラブへご来訪いただきありがとうございます。例会担当のロータリー財団米山の岡本常任委員長さん本日はお世話になります。
又 前回の例会は14日の夕刻に映画例会ということで4クラブ合同の移動例会になりました。久しぶりに見た映画のすばらしさに満足してきました。

題名が「レッドクリフ」と言う映画で見応えのあるものでした。

11月13日は私の年度の初めてのゴルフコンペでした。岡部会員、佐川会員、丑久保会員、奥田会員には参加いただきありがとうございました。又 その日13日の夜は加須にて会長幹事会がありました。15日は岡本会員のご母堂様のご葬儀でした。高田幹事、棚澤エレクト、私とでお手伝いをさせていただきました。ご冥福をお祈りいたします。又 その日の夜は私の代では初めての諮問委員会が開かれ、来年度に向けての準備が始まりました。棚澤エレクトさんの意気込みが感じられました。

山口諮問委員長 佐川諮問副委員長さんご苦勞様でした。

又 悲しい話ですがいつも例会場でお世話になっている当ホテルの社長様のお父様 下田國臣様がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。以上で挨拶とさせていただきます。

本日のプログラム 12月3日(水) 会員増強について



皆さんこんにちは。私の名前はマウング・チョウラインと申します。私はミャンマーから来た留学生です。マウング・チョウラインというのは長い名前と思われませんが本当はチョウラインだけは名前です。私の国では姓という血縁集団がなく名前のみです。生まれた日によって名前を付けています。「マウング」というのは男みんな付いていて、女はみんな「マ」が付いています。日本で言ったら「～さん」という意味になります。

最初にミャンマーを紹介したいと思います。昔はミャンマーはビルマと呼ばれました。ビルマと言ったらビルマの豎琴という映画を見た人が多くいると思います。ミャンマーと言ったら分からなくて、ビルマと言ったら日本の方々が「そうかビルマなのか。あなたビルマの豎琴という映画を見たことがある？」といつも質問されるのが多いです。映画の中のようにミャンマーの人々は心優しい人が多いです。

ただ皆さんはミャンマーとビルマだけだとどこにあるか分からないと思います。ミャンマーは東南アジアのインドシナ半島にあります。国境は中国、ラオス、タイ、バングラデシュ、インドと接しております。国の面積は67万8500平方キロメートルで、人口は約4272万196人です。ミャンマー人口の80%は仏教徒です。ミャンマーではいろいろな民族が生活していて、全部で133の民族がいると言われてます。

もしミャンマーに遊びに行ったら、ぜひシュエデゴオンパゴダに行ってみてください。このパゴダの歴史は、今から2500年以上も前にさかのぼると言われています。当時、タポウタとパッリカという兄弟の商人がインドで仏陀と出会って8本の聖髪をもらいうけ、紀元前585年にこの地に奉納したのが起源だとされます。灼熱の太陽の下、まばゆいばかりの輝きをみせる黄金の塔です。その高さは99、4m、基底部の周囲は433m、使われている金箔の数だけでも8688枚と言われています。塔の最頂部には1個76カラットのダイヤモンドをはじめ、総計5451個のダイヤモンドと1383個のルビー、他にもヒスイなどの宝石が散りばめられています。これほど贅を尽くしたパゴダが他にあるだろうか。私を含め、ミャンマーの人々にとってパゴダは心の支えであり、生活の象徴でもあります。 以上はミャンマーについての一部の紹介です。

次に私のことを話したいと思います。私はミャンマーの首都であるヤンゴンで生まれました。私は10人兄弟の中で一番下です。私の家族は路所で野菜や割れている卵などを売って生活をしてきました。私の母は本当に苦労をしたと思います。でもいくら苦労をしても、私たちに“こんな生活は嫌だ”と一言も言われませんでした。それだけではなく食べるのも住む家も何もかも心配がないようにしてくれました。だから、いつか母に恩を返せるようにがんばっていきたくて思っていました。

母が私に高校を卒業したあとで、日本で勉強をさせることにしました。日本に来る前に飛行所で私は母に一言言われました。それは“息子よ、あなたに財産としてあげられるのはお金ではなく、あなたががんばれば一生食べていけるものである勉強だけです。”と言いました。私は誰よりもがんばらないと母に恩返しはできないと思い、今まで学校を一日も休まずに通って勉強をしました。

「なぜ留学は日本にしたか」と質問されると答えは私の母国ミャンマーは資源が豊富にありますが発展していません。ミャンマーの機械や家電製品は、すべて先進国からの輸入品になっています。その中で一番人気なのは日本の製品です。私はそれらを作り出す日本の技術者や職人さん達の技術は本当に素晴らしいと思いました。私はその日本の技術に大変興味を持ちました。世界で一番の技術を持つ日本は子供の頃から憧れていた国でした。私は専門的な知識や高い技術などを実際に日本で学びたいと思い、日本へ留学することを決心いたしました。

また環境に対して勉強になった事と言えば、私は日本に来る前は環境に対する認識は全くありませんでした。ミャンマーではゴミの分別も行っておりませんし、リサイクル工場などありません。黒い排気ガスを出しながら走っている車もたくさんあります。私は日本に来て初めて環境への対策の重要性を知りました。日本ではただものを作るだけでなく、環境のことも考えながらものづくりをしており、大変勉強になりました。

僕に「刺身は食べられる？」と聞いたら「大好きです」と答えます。日本の食生活に慣れるまでのことを思い出すと、私は日本へ来てからミャンマーより物価が高いことを知りました。日本に来たばかりを思い出すと、毎日のように家の近いスーパーで一番安いもやしを買って食べました。ものを買うたびにミャンマーのお金で計算してしまい、なかなか買うことはできませんでした。母に電話するとき、そのことを言ったら、「そういう風に考えると日本だけでなく、他の国でも生活はできない。その国に住むと何もかも取り入れて生活するのが一番良い。」と言われました。それから日本の生活は段々慣れるようにして、食べ物も好き嫌いがないようにしました。

私は米山奨学生になって最初に参加したのは「ロータリーの森」奉仕作業でした。参加したことによって、ロータリーの基本原則である「皆で一緒にやれば一人ではできないようなもっと多くのことができる」ということを実感しました。

秩父音頭祭り日本の文化を体感することが出来ました。米山奨学生でなければなかなか体感することが出来ないから貴重な思い出になりました。そして米山研修旅行ではロータリークラブを創立された米山梅吉様のことをもっと知ることができました。米山梅吉様のお墓参りでは心の底からの感謝の気持ちを伝えることが出来て、旅行に参加してよかったと思いました。

私は米山奨学生になってから一年を通して、いろいろな大会や研修旅行や祭りなどに参加した結果、今まで考えてきたことが少しずつ変わってきました。またいろいろな国の奨学生友達と仲良くなって、国々の文化を交流することも出来ました。世の中のことがあまり知らない、人の前で話をするのも嫌いで、自分自身のことしか考えてなかった私を広い世界まで連れてくれたのはロータリアンの皆様のおかげだと思います。

2年生になってからもロータリーの森清掃、秩父音頭祭り研修旅行に参加しました。米山奨学生になる前は人の前で話をするのが苦手だったが米山奨学生になってから、いろいろな大会やクラブでの卓話などしていた結果が怖がる気持ちがなくなって、堂々と話をするようになってきたと思います。

今年の5月にミャンマーでサイクロンが上陸して大きな被害がありました。私はニュース、インターネットから大きな被害を受けた人々の姿を見て心が痛くなりました。ミャンマー人として、また米山奨学生として何が出来るかを考えた結果、募金活動することに決めました。募金で集めたお金をミャンマーにいる私の家族に送って支援が届かないところまで行ってもらい生活に必要なものを配るように頼みました。それは私にとって初めての募金活動であり、忘れられない思い出になり、被災者のために少しでも役に立ったことを実感しました。

私は米山奨学生になったことを誇りに思っています。また皆様から頂いているのはご支援だけではなく親のような温かい心もいただいております。最後にこの場を借りて、ロータリークラブを創立された米山梅吉様をはじめ、ロータリー会員の皆様に心から感謝しております。残りの大学生生活と米山奨学生生活を同時に楽しんで、一生懸命勉強していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

ご清聴ありがとうございました。



委員会報告



<親睦活動委員会>

李 一孝 委員長

12月25日にはクリスマス家族例会を開催します。8月の納涼例会では熊谷南ロータリークラブが生まれた年と同じ年に作ったバースデーワインを飲んで楽しもうというノリで行い大いに盛り上がりました。今度のクリスマス家族例会もたくさんの会員の皆さんに参加して頂き盛り上げたいと思います。よろしくお願いします。



<財団米山委員会>

岡本庄一郎委員長

先日の母の葬儀では会員の皆さんにもご会葬頂き有難うございました。ロータリーの友情に感謝いたします。

さて、今日は行田さくらRCから2570地区米山奨学推進委員会委員の井上博司バスト会長と米山奨学生のマウング・チョウラインさんにお越し頂きました。私もお2人のお話を聞いて一緒に勉強したいと思います。卓話よろしくお願いします。

● 出席報告

例会日 11月26日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
28	15	13	0	54%

お客様：熊谷RCバスト会長 富岡清様
地区役員 行田さくらロータリークラブ井上博司様
マウング チョウ ライン様

● ニコニコBOX

加藤博会長・高田直樹幹事

本日はお忙しい所ご出席ありがとうございます。

米山奨学生マウング・チョウ・ラインさんと地区役員井上博司様、当南クラブへご来訪ありがとうございます。卓話よろしくお願ひ致します。熊谷クラブより富岡清様ご来訪ありがとうございます。以上です。

熊谷RC・富岡清様

今晚は！今日はおじゃまします。先週の熊谷クラブの例会には加藤さんが見えになりました。今日は、はからずもそのお返しですね、よろしく。

佐川順一会員

本日のゲスト、マウング・チョウ・ラインさん、委員の井上博司様、富岡清様、ようこそ、歓迎致します。卓話、楽しみにしています。

菱沢利行会員

熊谷RC富岡清様、米山奨学委員会地区役員井上博司様、米山奨学生マウング・チョウ・ライン様ご来訪有難うございます。

山口茂会員

マウング・チョウ・ラインさん、ようこそ、おいで下さいました。本日の卓話、楽しみにしております。井上様、本日は、ようこそおいで下さいました。地区の方でも、よろしくお願いします。富岡清様、やっと来てくれましたね。うれしいです。

岡本庄一郎会員

先日、11月15日、母の葬儀に際し、メンバーの皆様には大変お世話になり、有難うございました。本日は米山月間で、マウング・チョウ・ラインさんをお招きしております。又、地区役員の井上博司様、熊谷ロータリーの富岡清様、ようこそ、南へ。有難うございます。

渡邊藤男会員

米山奨学委員会地区役員井上博司様、米山奨学生マウング・チョウ・ライン様ようこそ南RCへ。本日は宜しくお願ひ致します。

棚澤正行会員

熊谷RC富岡清様、米山奨学委員会地区役員、井上博司様、米山奨学生マウング・チョウ・ラインさん、本日はお忙しい中、南クラブへようこそおいで下さいました。卓話よろしくお願いします。

植竹知子会員

学びあい支えあいの人とのふれあいエピソードの朗読コンサート来年の1月31日(土)です。どうぞ皆様お越し下さい！！RC関係で、20人どうぞ - との事です。

熊谷南ロータリークラブ

会報 広報(IT)委員会

島崎次弘・植竹知子・井上哲孝

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya south rc.com

<http://kumagaya-south-rc.com/>